滝沢村役場庁舎建設予定地地質調査　No. 4　号柱状図

施工期日	自 1月30日	方向角度	垂直	総掘進長	25.00 m	原動機名	
	至 2月3日	コア採取長	m	孔径	φ66 mm	試錐機名	KR 100型
標高	0.00 m	コア採取率	%	担当者名	田村 満		

月日(天候)	標高(M)	深度(M)	層厚(M)	図表	土質名	色調又は排水	相対密度	相対稠度	水位(M)	コア採取率(%)	コア長(M)	記事及観察	サンプリングシンウォール	標準貫入試験 深度(M)	N値(回/cm)	N値(回) —○— 10 20 30 40 50
	0	0.90	0.90	⊠	盛土	茶灰色			1.10			砂礫敷				
						黒灰色	極	極				旧表土 軟質地盤	1		2	(1/15, 1/15)
													2		2	(1/15, 1/15)
					火山灰質粘土質シルト		緩	軟				下部若干の砂挟む	3		2	(1/10, 1/20)
		4.00	3.10			淡灰色										
	5	5.00	1.00		火山灰質礫混りシルト	暗灰色						火山灰質粗砂を挟む.枝混入	4		3/30	(1, 1/13, 1/13)
		6.30	1.30		火山灰質粘土質シルト	淡灰色						有キ物(木片)混入	5		2/35	(1/15, 1/20)
1/31 (晴)													6		5	(1, 2, 2)
						暗灰色						有キ物(木片)混入 礫径φ30m/m前後で、部分的に多い所と少い所があり不規則に混入	7		8	(1, 3, 4)
							中	中					8		15	(5, 6, 4)
					火山灰質礫混りシルト	暗緑灰色							9		5	(1, 2, 2)
	10	9.90	3.60													
		10.80	0.90		火山灰質砂礫	黒灰色						火山性砂礫で若干シルト分含む	10		31	(18, 6, 7)
												礫径は細かい.	11		20	(3, 3, 14)
					火山灰質礫混りシルト	暗青灰色	密	硬					12		8	(2, 2, 4)
		12.80	2.00													
2/2 (雪)												上尻部礫多く貫入試験困難部分的に粘土化作用を強く受け稍軟弱全般的に石英粒の多い粗粒凝灰岩で礫は石英安山岩・安山岩が主	13		50/15	(29, 21/5)
	15												14		16	(4, 5, 7)
							密～極密	硬～極硬					15		21	(5, 7, 9)
													16		14	(4, 3, 7)
													17		40	(15, 10, 15)
					凡化角礫凝灰岩	暗緑灰色							18		38	(10, 11, 17)
		19.00	6.20													
	20					暗緑灰色						凡化作用弱くなり堅硬な地盤となる含水殆んどなし基地の凝灰岩は比較的粗粒である	19		50/20	(16, 34, -)
		21.00											20		50/15	(30, 20/5)
													21		50/10	
		22.00				黄褐色	極密	極硬					22		50/2	
2/3 (晴)													23		31	(5, 10, 16)
												22.5～23.0及び24.0～25.0間礫極僅かで凝灰分を主とす	24		50/3	
	25	25.00	6.00		角礫凝灰岩	黄緑色							25		50/10	
2/4			検尺													

砂質地盤の相対密度

〈標準貫入試験のN値〉	〈相対密度〉
0 ～ 4	非常にゆるい
4 ～ 10	ゆるい
10 ～ 30	中位
30 ～ 50	密な
50 以上	非常に密な

粘土質及シルト質地盤のコンシステンシー

〈標準貫試験N値〉	〈コンシステンシー〉
0 ～ 2	非常に柔かい
2 ～ 4	柔かい
4 ～ 8	中位
8 ～ 15	堅い
15 ～ 30	非常に堅い
30 以上	特別に堅い